



宮崎県立宮崎西高等学校同窓会

朝陽会会報

第20号

発行所

宮崎県立宮崎西高等学校同窓会
朝陽会事務局

〒880-0951

宮崎市大塚町柳ヶ迫3975番地2

TEL (0985) 48-1021

ごあいさつ



朝陽会会長
久保 裕

(二期生)

朝陽会会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、同窓会活動に対し、深いご理解とご支援を頂き誠にありがとうございます。

昨年は、母校の創立四十年式典並びに祝賀会が盛大に行なわれ、皆様方とともに、この大きな節目となる四十周年を無事祝うことが出来たことは、同窓会会長として、この上ない喜びであります。式典では、この四十年の歩みを写真や映像で振り返ったり、世界各地で活躍している卒業生の皆さんからのビデオメッセージや卒業生で音楽家の谷口まりやさんの素晴らしい歌声が披露されました。

創設当時の写真は懐かしく、一期生の私たちにとつては、とても感慨深いものがありました。

式典のご挨拶でもお話ししましたが、私たちの高校生活は校舎も体育館も何も無い中でのスタートで、今では想像もつかない厳しいものでした。あれから四十年、今では全国にその名を良く知られる文武両道の進学校になり、卒業生も一六、五〇〇名を数えるまでになっています。

数年間まで母校のPTA会長を務めさせて頂く中で、現役の後輩の皆さんが、毎日スポーツや勉学に一生懸命に励む姿を間近に見せ

て頂くことが出来、とても嬉しく頼もしく思えたものです。私たち卒業生も後輩達に負けないよう、良き模範となるべく、さらに頑張つて参りたいと思っております。

それから昨年、この四十周年を機に会員相互の交流と親睦を深める一助にと、同窓会名簿を作成させて頂きました。その際、学校の先生方をはじめ、多くの皆様のご理解ご協力を頂き、立派な名簿を作成出来ましたことに改めて感謝申し上げます。どうかお役立て頂ければ幸いです。

次の五十周年に向けて、同窓会も新理事を迎え、さらにリフレッシュし、益々パワーアップして参ります。皆様方の更なるご支援ご協力を何卒宜しくお願致します。



宮崎西高PTA会長
奥 泰 裕

朝陽会の皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。会報も二十号目に当たり同窓会活動も益々盛んで喜びに絶えません。お陰様で昨年、四十周年の節目を迎え、十月には記念式典と祝賀会が華やかに挙行され大いなる感動を共にすることができました。その際、皆様方からは様々なご支援をいただき、改めて感謝いたします。本当にありがとうございます。

さてご周知のとおり、本校は普通科、理数科、附属中学校を併設する特色ある

学校です。県下広くから様々な能力や体験を有する若人が参集し、日々切磋琢磨し触発し合う教育環境に恵まれた学校として県内外に知れ渡っています。そのような環境の下でこの度、三十八期生を無事送り出すことができました。朝陽会の先輩方におかれては、後輩諸君への温かいご指導の程よろしくお願い申し上げます。

三十八期生の諸君、多方面で活躍する面倒見の良い先輩方を今後大いに頼りにしてください。多様な人材と探求心を育む環境こそが本校の大きな



宮崎西高校長
児 玉 淳 郎

今年新たに四一一名の卒業生が同窓会に加えていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

さて、昨年十月十八日に、宮崎市民文化ホールにおいて創立四十周年記念式典を挙行することができました。式典では、「行け、広き世界の国々へ」という校歌の歌詞を実現している卒業生の中から連絡をとれる方をお願いし、四期生の武田(旧姓山下)裕子氏、十三期生の木原宏一氏、そして三十七期生の荒木大河氏に映像

による祝辞を頂戴しました。式典の最後には、全校生で初代校長坂口鉄夫先生の「創設のことば」を暗誦し、未知の我を求めて全力を尽くす生徒の力で「さらなる西高校の飛躍」を創り出すことを誓いました。また、東北大学の川島隆太教授に「脳科学が教える正しい脳の鍛え方」という演題で記念講演をしていただきました。

そして、同日夕方には二十三期生の榎木田智子氏の司会で祝賀会が開催され、三十一期生の永山夏希氏に記

特長であり、かつ強みでもあります。在校生や先生方の奮闘努力、PTAのサポートは無論のこと、朝陽会の方々のご声援とご支援が不可欠です。特に生徒諸君の資質や能力向上を加速することが永遠の課題です。今後とも、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。次の五十年、更に百年を目指す本校にとって、平成二十六年は新たなステップに向けての重要な初年度目に当たります。朝陽会が果たす役割は益々増大しており、大変期待されています。本校の発展のために、益々連携や協力を密にすることを祈念して、最後になりましたが、朝陽会の益々のご発展を期待してのご挨拶いたします。

念ライブを、二十二期生の有吉亮治氏にピアノによる記念演奏をしていただきました。この周年事業の実施に当たりましては、卒業生が同窓会入会時にお納めしている資金から援助をいただくとともに、同窓会長をはじめとした役員理事の皆様方に実行委員として御尽力いただきました。心からお礼申し上げます。

最後に、毎年八月に開催される朝陽会総会が多くの世代が集うものとなり、益々同窓会が充実していきまことをお祈りして御挨拶とさせていただきます。なお、文中の卒業回は、昭和五十二年三月の卒業生を一期生として数えたものです。

宮崎県立宮崎西高等学校 創立40周年

平成25年10月18日(金)に開催された記念式典の感動を文字にして再び、そして記念祝賀会の様子をご紹介します。

- ◆ 記念式典 [会場] 宮崎市民文化ホール
- ◆ 記念祝賀会 [会場] ガーデンテラス宮崎ホテル&リゾート



記念講演



記念講演 「脳科学が教える正しい脳の鍛え方」

東北大学加齢医学研究所 川島隆太教授

脳は心の器である

今日は皆さんの脳にとって何を行うと有利になるかという話をします。

私は中学時代「なぜ自分はここにいるのか」という問いを持ちました。そのためには、地球最後の日に人間がどうするか見届けなければいと考えました。それまでにコンピュータの中に脳を埋め込みたいと考えました。そして脳の研究を始めました。

脳について様々なことがわかるようになりました。前頭葉の左前(ブローカ野)を負傷したため「理解できるのに話せない」症例や、左側の後方の部位(ウィルニッケ野)を負傷して「他人の言葉が理解できない」症例などから、言語中枢が左脳にあることがわかりました。また前頭葉を損傷して、粗暴な性格に変わった症例から「脳は心の器である」ことを確信しました。創造力に関する能力は左脳の前であり、文章を読むときに活動する部位だということがわかってきました。

脳の鍛え方について

ディフェンス1「睡眠」

質の悪い睡眠の見分け方は、土日に普段通り起きられるかで判断できます。睡眠時間は、寝た直後に成長ホルモンが分泌されたり、REM(Rapid Eye Movement)睡眠と呼ばれる時間に一日を復習する大切な時間なのです。

最近この睡眠を邪魔するものとして「ケータイ」「スマホ」があります。私の子供には2つの約束をさせています。

1. 寝る前にケータイの電源を切る。
2. 勉強する前にケータイの電源を切る。

いつまでも返事を待ってだらだらと時間を無駄にしています。テストの点数が30点も下がることが証明されています。知能指数が低くなり発達が悪くなります。

ディフェンス2「食事」

脳の栄養はブドウ糖だけです。デンプン(=主食)を摂取することが必要ですが、それだけでなく、すべての栄養(=おかず)が必要です。学習するとシナプスが増えます。劇的な変化が起きるのですが、朝食をとる習慣は単に学習だけでなく、入試その後の就職、年収にも関係してくることがわかってきました。パンにジャム、紅茶といった朝食では午前中頭が働きません。朝食抜きの運動部員などあり得ません。

オフェンス「ワーキングメモリー(作動記憶)アップ」

継続的に適当な負荷をかけて脳を鍛えると作動記憶がアップします。

- ・たくさんの情報を一度に処理できる
- ・状況を把握して適切に判断できる
- ・物事を理解し学ぶ力がつく
- ・予測する力がつく

それに伴い、転移効果といって望ましい能力(いわゆる本来の意味の頭の良さ)もアップすることがわかりました。

- ・我慢抑制する力
- ・創造する力
- ・集中する力
- ・論理的に考える力
- ・突発的な局面を開く方法を見つける力



2つのワークショップ

「視空間課題」・動きを伴う記憶
「Nバック」・N番前の答えを言う

本来これはスケルトン選手的能力アップのためのワークショップでした。その結果「恐怖心に打ち勝つ」「コースを予測する」「突発的な事態に対応する」ことができるようになりました。一般の大学生に1日20~60分のトレーニングを課してみたところ、前頭葉の体積が増え、作動記憶課題、一般知能、抑制課題、想像性課題能力が増しました。

生活の中で行える作動記憶トレーニング

その方法は「計算」や「音読」に関わる部位であるので、意外な方法かもしれませんがいわゆる「読み書きそろばん」であり、学校の勉強を続けることだと言うことがわかりました。「勉強」とは読んで字のごとく「強いて勉める」ことであり脳にとっては一番いいトレーニングであるということです。

遺伝子多型と作動記憶トレーニング

私たちの体の中にBDNF(脳由来神経栄養因子)遺伝子と呼ばれる遺伝子があります。脳の形成(=学習効率)にかかわるアミノ酸を作る遺伝子でVal(バリン)/Val型の正常形、Val(バリン)/Met(メチオニン)型、Met/Met型といった変異型の3種類あります。脳の体積を増やす動きを活性化するVal/Val型が一番普通で効率が良く、一部が変異したVal/Met型、2つとも変異したMet/Met型の順に効率が悪くなります。Val/Val型は頑張れば能力が伸びるのですが、努力しないと下がってしまいます。一方あまり効率の良いMetを含む型は努力をしなくてもあまり下がらないという性質があります。日本人は3分の1ずつですが、外国人は努力次第で伸びる型の人が80~90%を占めていて、努力次第で差が開く国民性の傾向が何となく出ている気がします。

数千万年続いた我々の命(=遺伝子)の不思議

この遺伝子は父母の両方から半分ずつもらっています。「一人一人の身体の中には数千万年の人間の歴史が書き込まれている」のです。遺伝子を今に伝えるのには戦争、飢饉等々の多くの困難があったことと思います。今私たちがここにすることに神秘性を感じます。私たちが子供を産み、育て、子孫を残すことは数千万年の人間の歴史を紡ぐとても大切な役割です。男女平等の社会に移行している現代にあって、妊娠し出産する間に働くことのできない女性の在り方をもう一度考えてみましょう。

パネルディスカッション



【パネリスト】

江藤 佑子さん (中3)
山崎 将希くん (高1)
新町 裕生さん (高1)
串間 咲希さん (高2)
加地 紫音さん (高2)

1. 食事について

—皆さんの朝食はどうか？—

「ご飯とウインナーです」
「バター付きパンと紅茶です」
「チーズバケット、ソーセージ、卵焼き、野菜スープ、ヨーグルト、ミルクココア、フルーツです」

—合格は一人だけかな。ではだれが作ってますか？—

「母です」

—さっきの話から、おかずが必要だとわかったうえで、どうしたらよいですか？—

「自分でも将来のためにも作るべきかなと思います」
「そう思いますが、出来ません」

—生徒の皆さんでそう思った人は「硬直化」です。毎朝作るのが難しければ前の日に作っておけばいい。お母さんに前の晩に少し多めに作ってもらって、翌朝電子レンジで温めればいいんです。—

2. 睡眠について

—皆さんの睡眠時間はどのくらいですか？—

「宿題が終わらなくて2時ごろです」
「宿題テレビで2時ごろです」
「早くて10時に寝て、4時半ごろ起きて勉強します」
「9時ごろ寝て3時ごろ起きて勉強しています」

—朝方勉強は、しないよりはいいけど一度寝たほうが記憶が残ります。工夫してみましょう。—

「パソコンスマホの電源切ろうと思います」

—それがいいと思います。一日の行動を2~3日つけてみるとわかると思います。だれとでもいつでも繋がり便利だと若者を煽っている大人として謝りたい。スマホケータイがなかったころを考えてみるとどうでしょう。友情を育むことはできないでしょうか？—

「直にあって話す、遊んだと思います」

「文字を使うラインより、直に話す方が表情、声の調子がわかって感情がわかる」

—ラインに惹かれるのはなぜでしょう？—

「便利で使いやすい」
「毎日の管理された中で発散できないから」

—人間は安易なほうを選びます。しかしこの状況がセグウェイでどこでも行けるといった肉体的に楽な場面だったらどうでしょう？—

「代償として何かを失う感じがする」

3. 遺伝子をあなたの代で切ってしまうていいか

—デリケートな問題ですが、仕事をするのと赤ちゃんを作らない選択は有りかなしか。どうですか？—

「母と話したことがあります。仕事はしたほうがよいが、子供にも愛情を注ぎたいので仕事を休んで生みます」

—素晴らしい選択です。先ほども述べましたが五千年以上もつながってきた命をここで切ってしまうことはどうかを考えてほしいと思います。今日は有難うございました。—



アトラクション

■独唱 谷口 まりや (三十六期生)



【プロフィール】

本校在学中に県内外の名だたる音楽コンクールでグランプリに輝く。宮崎県民学生栄誉賞をはじめ様々な賞を受賞。第64回全日本学生音楽コンクール全国大会声楽部門高校の部1位となり、第83回選抜高校野球大会開会式で「君が代」を独唱したことで有名(2011年3月)。

現在、鹿児島国際大学在籍中。

【受賞歴・他】

第15回宮日音楽コンクール・声楽部門グランプリ(高校・大学・一般)

第38回宮崎県独唱・独奏コンクール声楽部門金賞グランプリ受賞

第6回都城音楽祭第1位

第64回瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール第2位

第64回全日本学生音楽コンクール全国大会声楽部門高校の部第1位

横浜市民賞受賞

平成22年度宮崎県高等学校文化連盟芸術文化優秀賞受賞

宮崎県民学生栄誉賞受賞

2011年3月23日 第83回選抜高校野球大会開会式で「君が代」独唱

2011年5月14日 宮崎国際音楽祭「新星たちのコンサート」出演

2011年7月24日 横浜交響楽団定期演奏会出演

2011年8月 ウィーン国立音楽大学にてマルギット・クラウスホファー氏に師事

2012年4月より鹿児島国際大学在籍



世界で活躍されている先輩方からのメッセージ



「積み重ね」
国際石油開発帝石㈱
木原 宏 一
(十三期生)

私が宮崎西高十三期生として入学した一九八六年当時は、既に進学校の呼び声が高かったにしろ、まだ歴史や伝統を謳い文句にする学校ではなかったと思います。県北から下宿の下見に来た中学三年の頃、大塚台に陽光浴びる白亜の校舎を初めて仰ぎ見て改めて強い憧れを抱いた冬の一日から、こうして四十周年を噛み締めつつ寄稿するまでに早四半世紀以上の時間が過ぎていくことには、やはり驚きと感慨を禁じ得ません。その間も西高は着実に実績を築いてゆき、特に一昨年にはセンバツ甲子園大会出場を果たし文武両道を県内外に示したことは、創立以来四十年にわたり生徒・先生方・関係諸姉諸兄が弛まず連綿と積み重ねて来られた努力の賜物であると思えます。

積み重ねということに関して、私が大学で専攻し現在まで生業の礎としている地質学に「地層累重の法則」というものがあります。十七世紀にデンマークのニコラス・ステノという近代地質学の草分けとなった人が「発見したとされる法則ですが、新しい地層は古い地層の上にはか重ならない」という至極当たり前のような事を言っているだけであり、学生時代はよく蔑ろにしたものです。しかし、実社会の現場に出て、学問を応用しつつ経験(特に失敗)を重ねてゆくと、目に見えない・不確実性だらけの現実の地下の地層を解析する上で絶対的に重要不可欠な法則であることに気付かされました。そして、この法則を少し拡張して捉えてみると、築いてきた土台の形に沿ってしか新しいものは積み重ねることが出来ないのが原則であり、如何なる飛躍もその土台抜きには成し遂げられないという含蓄があるように思われます。こうした単純なことの大切さが、実生活においても年を重ねることに身に沁みています。

四十周年といえば、アブラハム・リンカーンが言ったとされる有名なことば「四十歳を過ぎたら自分の顔に責任がある」とを思い出しますが、四十年という時間は(顔に)歴史を刻むに十分な時間であり、その(自分の)歴史に対して責任を持って、ということだと思えます。宮崎西高校がこれまで築いてきた四十年は同窓の誰にとっても責任と誇りを持てる歴史であり、これからは現役生・卒業生の一人一人が地層累重の法則よろしく過去の土台の上に薄皮を重ねてゆくように日々を大切に送ってゆくことが、西高の更なる発展の歴史に繋がってゆくことと信じます。「賢者は歴史に学び、愚者は経験に学ぶ」とも言います。御自身と西高の未来のために、時には同窓に寄り添ってこれまでの足跡を確認しつつ、これからも皆で大いなる毎日を積み重ねて行きましょう。

▼ 会場で紹介された「世界で活躍されている先輩方からのビデオメッセージ」です ▼



Harvard 大学医学部フェロー
(総合診療科)
武田(山下)裕子
(四期生)

宮崎県立宮崎西高等学校、創立四十周年おめでとうございませう。西高四期生、武田裕子です。私は現在ボストンで、総合診療医ドクターGを育てる医学教育の研究をしています。二十年以上前、医師としての本格的なトレーニングを受けたのもこのハーバード大学でした。西高生また附属中学校の皆さんは「未知の我を求めて」という創設の言葉を大切にしているとお聞きしました。私も西高の教室で、夕暮れ一人になった放課後、窓から外を眺めて自分の将来に思いをはせたことを思い出します。でもまさか自分がソ連のゴルバチョフ元書記長と握手し、エリザベス女王にお目にかかり、アラブの王様と電車に乗ることになるとは想像もしていませんでした。国際協力活動の機会もいただきました。

世界をめぐる中で二〇〇一年にはニューヨークで九・一一にも遭遇しました。様々な大学の医学部で教員として学生と接する機会をいただきました。なんだかとても華麗な医師人生を歩んでいこうに見えるかもしれないませんが、実は西高一年生一学期の中間試験では物理Iが二十九点という赤点で、とても医学部に合格するような生徒ではありませんでした。赤点をとった段階で落ち込んでいた時に通りかかった中川先生という英語の先生から「温こう見守りつつやってやるから」とお言葉をかけていただいたことは忘れられません。また二年生の時には、理系が苦手でも医学部進学の可能性があると知り、三年の時には当時でも憧れていた先生に特別に頼みこんで、なんと夏休みの間毎日自宅に電話をかけていただきました。私が西高に入学したのは、創設四年目、担任は渡辺先生という数学の先生で、当時教職につかれて間もなくた児玉校長先生に化学を教わりました。これまでの自分の歩みは本当に西高での三年間があったからこそといつも過言ではありません。

実は高校在学中に、自分自身が本当に嫌になり、空しい思いをどうにもできなかった時期があったのですが、その時には海老原先生という英語の先生がその悩みを深く受け止めてくださり、人生を考え直すきっかけをくださいました。海老原先生は今も宮崎市内で牧師をなさっています。私が医学部教員としていつも考えるのは、これまでお世話になった先生方にしていただいたように学生たちに接したいということです。皆さんの熱意にあふれた先生方、ともに学びあう素晴らしい仲間が恵まれていること、それがどんなにかげえられないことか、思い出する時が在校生の皆さんもきつくとくると思います。さて皆さんにとって「未知の我」とはどんな自分でしょうか。全力を尽くして見つけ出してください。ありがとうございます。



ウエズリアン大学一年
荒木大河
(三十七期生)

こんにちは。宮崎県立宮崎西高等学校三十七期生、附属中学校一期生の、荒木大河です。この度は、宮崎県立宮崎西高等学校創立四十周年おめでとうございませう。私は、今年の三月に宮崎西高校を卒業しアメリカのコネチカット州にあるウエズリアン大学という大学に進学しました。この大学は、日本にはほとんどない「リベラルアーツ大学」という種類の大学で、生徒数は三、〇〇〇名と少なく、教育は自分の研究ではなく、生徒の指導に力を入れるという、教育に特化した大学です。生徒九名あたりに教授が一名という割合でいるため授業のほとんどは少人数クラスのディスカッション形式で行われます。なので、授業の前には大量の予習をしていかなければ授業に参加することすら難しいです。まだ、こちらに来て一ヶ月と短いですが、平日は勉強の事しか考えられないような過酷な環境で、自分自身が鍛えられ成長していく事が、手に取るように分かります。

そして、私がこうやってアメリカの大学で、勉強する事ができるのも、宮崎西高校で高校生活を過ごすことができたからだと思っています。アメリカの大学を受験するというのは、自分を含め、周りの方々にとっても本当に未知の領域でした。しかし、高校一年生の三者面談のときに、担任の吉川先生に「アメリカの大学が受験したい」と打ち明けたときから、吉川先生や校長先生をはじめ様々な先生方が、本当に様々な形で自分をサポートしてくださりました。そのおかげで今の自分があると思えます。アメリカに来て様々な日本人学生と話しましたが、西高ほど先生が生徒に親身になって協力してくださるような高校は他にほとんどないと思います。後輩の皆さん、「未知の我を求めて全力を尽くそう」というフレーズがあります。これまでに、何十回も何百回も聞いてきたフレーズかもしれませんが、私にも言わせてください。未知の我を求めて全力を尽くしているのは、生徒の皆さんだけではないと思えます。私は、これまでの六年間を宮崎西高校、宮崎西高校附属中学校で過ごしてきましたが、生徒の皆さんだけではなく、先生方や保護者の皆様もそれぞれの未知の我を求めて、全力を尽くしていらつしやるという方を強く感じました。そして、このように西高に関わる全ての方々が未知の我を求めて全力を尽くすことで、宮崎西高全体が、他の高校にはできないような未知の分野を切り開いて来られたのだと思えます。なので、後輩の皆さんにはこのフレーズをとても大切にしたいです。

この言葉は、西高から宮崎、日本、そして世界を変える大きな力を持っていると思えます。最後にになりましたが、日本各地、そして海外の様々な場所へ活躍していらつしやる先輩方と並んで、このような場所をくださり本当にありがとうございます。数年後に、胸を張って宮崎に帰る事ができるようにこれからも日々頑張ってください。宮崎西高校創立四十周年、本当におめでとうございませう。宮崎西高校創立四十周年、本当におめでとうございませう。

※ 会場で紹介されたビデオメッセージを文字起こししました。

宮崎西高等学校創立四十周年 記念祝賀会に寄せて



Eternal Growth (エターナル・グロウス) 代表
ストレスゼロ・トレーナー
フリーアナウンサー
榎木田 智子
(二十三期生)

西高を卒業してかれこれ十五年、親が転勤族で幼い頃から転校の多かった私は「愛校精神」とは正直無縁だと思っていました。しかし、卒業から八年ぶりに宮崎の地を踏んで最初に感じた母校の制服の懐かしさ、今回の記念祝賀パーティーの司会依頼に胸が躍った感覚に、眠っていた母校への気持ちが目覚めるのを痛感しました。例えば、アナウンサーの夢が芽生えたのも、大切な恩師や友人と出会ったのも、最も苦しかったけど絶対にやればできる事を知ったのも、西高時代。今の私を一本の木に例えるならば、それを育てた「土」は、確かに西高にあつたのです。現在の仕事の一つであるメンタル・トレーナーの視点から在校生の皆さんにお伝えしたいのは、選択肢は無限ということです。西高という土があるからこそ、自由に幹を伸ばすに十分な空があります。自分の「今」の学力では無理だからと自ら可能性を閉ざさないでください。「今」と「未来」は別物。変えられます。苦しい時には「できないうし」ではなく「どうしたらできる?」と自問しながら、未知の我という大きな木を繁らせて下さい。一人のOGとして、宮崎西高等学校付属中学校および宮崎西高等学校の今後益々のご発展と皆さまの輝かしいご活躍を心より祈念致します。



宮崎県立宮崎西高等学校 創立40周年記念事業 記念祝賀会

記念祝賀会は、西高職員を中心に歴代校長をはじめ多くのご来賓の皆様にお越し頂きました。卒業生による素晴らしい記念演奏&記念ライブも華を添え、大盛会となりました。

記念演奏 (ピアノ演奏)



ピアニスト
有吉亮 治氏 (二十二期生)

【プロフィール】

東京藝術大学卒業。在学中、日本音楽コンクール第一位を受賞。ジュネーヴ音楽院に留学。日本シヨパン協会例会リサイタルをはじめ、スイス、フランス、イタリア、ヨルダンなど国内外でリサイタルに出演のほか、各方面で多彩な演奏活動を展開。現在、東京藝術大学及び桐朋学園大学各非常勤講師。



記念ライブ



シンガーソングライター
永山 夏希 (三十二期生)

【プロフィール】

青山学院大学日本文学科卒。三歳からピアノを始め、上京後本格的に音楽活動をスタート。今都内ライブハウスシーンで最も注目を浴びている新進気鋭のシンガーソングライター。

【曲目】

Tokyo love me
真っ赤な嘘
アメリカンスプリット
Happy Happy



懇親会抱負



実行委員長

榎本雄介

(十七期生)

「不惑の四十歳」という言葉は遠い未来のことのように思っていました。今年是我々の学年がその年齢に達する年です。

母校である宮崎西高も、昨年創立四十周年を迎えました。言わば母校と「同級生」でもある我々が幹事学年を務めることに深い縁と責任の重さを感じています。

高校時代は、勉強・生徒会活動・部活動そして恋愛や遊び?に明け暮れ、毎日のように友人たちと人生の意義や自分の将来についてともに悩み、語り合いました。また、先生方には情熱と愛情を持って「人としてどう生きるのか」ということまでご指導いただきました。

私は現在、延岡市で診療所を開業し、「地域医療はまちづくりの一環」という想いで患者さんや地域の方々と向き合っています。宮崎西高で過ごした日々が今の自分の礎になっているのだということ。

「全期合同同窓会」では、宮崎西高という同じ学び舎で青春の大切な日々を過ごした者同士が一堂に集い、変わらぬ友情を確かめ合い、明日からの人生の糧になるような楽しい会にしたいと考えています。普段はなかなか顔を合わせることもない先輩方や後輩たちと話をすることも楽しみですし、仕事や子供など、意外な所での繋がりを発見するのも楽しいと思います。

歳を重ねることに痛感しています。本当にいい日々だったな・・・と。

八月の同窓会に向けて、これから実行委員のメンバーと様々な協議を重ねて準備を進めて参ります。全国各地からたくさんの方々の皆様にお集まりいただき、「良かった」「楽しかった」と言っていただけのように、しっかりと務めたいと存じます。

皆さん、八月は「宮崎西高全期合同同窓会」にご集結ください!

関西支部活動報告

関西支部支部長

松尾佳司 (三期生)

朝陽会関西支部は、平成十七年の朝陽会総会で正式に支部として承認されました。第一回関西支部総会(大阪)にご出席いただいた元教頭の末廣芳文先生から「最低でも五年は続けて下さい」と励ましの言葉を頂戴した時のことが今でも懐かしく思い出されます。

さて、六月に開かれた第八回関西支部総会では、これまで二回開催していた定例理事会を三回にすること、会員親睦会である「てげてげ会」の開催に力を入れること等が承認されました。また、中原薫様(十期生)と鶴田芳男様(十三期生)に新役員に加わっていただき、中原様には宮崎西高創立四十周年記念式典および祝賀会に出席していただくことができました。尚、創立四十周年記念祝賀会でのピアノ演奏を、私の娘にピアノを指導していただいている有吉亮治様(二十二期生)に快くひき受けていただいたことが、私の中では最も感慨深い出来事です。

それでは、朝陽会関西支部の平成二十五年を振り返ります。

- 【二月】朝陽会理事会に支部長出席
- 【二月】平成二十四年度朝陽会会報に寄稿
- 【三月】朝陽会理事会に支部長出席
- 【四月】第一回関西支部定例理事会
- 【六月】第八回関西支部総会
- 【八月】久保裕新会長就任を祝し朝陽会総会に祝電
- 【九月】第四回てげてげ会(兵庫県西宮市)
- 【十月】宮崎西高創立四十周年記念式典に祝花祝電/同記念式典および祝賀会に中原理事出席
- 【十二月】第三回関西支部定例理事会

近畿二府四県に進学される宮崎西高卒業生の皆様、近畿二府四県にお住いの朝陽会会員の皆様、是非とも関西支部事務局までご連絡下さい。また、学校及び朝陽会本部に置かれましては、可能な範囲で結構でございますので、卒業生や会員情報を関西支部まで提供していただければ、ありがたいです。



副会長就任挨拶

副会長

溝口

(二期生)



第一期卒の溝口です。久保会長の元、副会長をやらせて頂くことになりました。西高も四十周年を迎え振り返ると感慨深いものです。

えっ?君も西高なんだ!世間は狭いね。先輩、後輩楽しく和気藹々とより強い絆で朝陽会同窓会を盛り上げていきたいと思います。同窓会の皆様のお力をお借りしながら同窓会ならではのアプローチをして行きたいと思えます。どうかご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



編集後記

今年も何とか卒業式に間に合わせる事ができました。昨秋に開催された「創立四十周年記念式典」の素晴らしさを多くの方々にお伝えしたいと思いで、今回もカラーページでお届け致します。

毎回、ぎりぎりになってようやく動き出す会報作成ですが、朝陽会の広報委員も人数が増え、さばぎと動いて下さるので大変助かっています。宮崎西高を卒業し、日本中・世界中に羽ばたいて行く皆さんの心ふるさととして、朝陽会ホームページとおよびフェイスブックともよろしくお願ひ申し上げます。

広報担当 吉瀬洋一 (二期生)

朝陽会では、「朝陽会ホームページ」ならびに「Facebook」の朝陽会本部ページを設けています。宮崎西高の公式ホームページと協力して、卒業生向けの情報を発信しています。毎年8月第2土曜日に宮崎市内で行われる「朝陽会総会&懇親会」の情報も掲載していますので、ぜひご覧下さい。

この懇親会は卒業年度にかかわらず全期生対象です。県外にお住いの方は夏休みに帰省する際にはスケジュールを合わせて、ぜひ懇親会にご参加ください。

また、朝陽会には関東支部、関西支部もあります。多くの先輩方が登録していらっしゃいますので、ぜひ声をかけてみて下さい。

◆朝陽会ホームページ
www.choyokai.jp

◆朝陽会本部フェイスブックページ
https://www.facebook.com/Facebook/右側にある検索ボックスより「朝陽会」で検索して下さい。